

● 最近の県内経済

基調判断

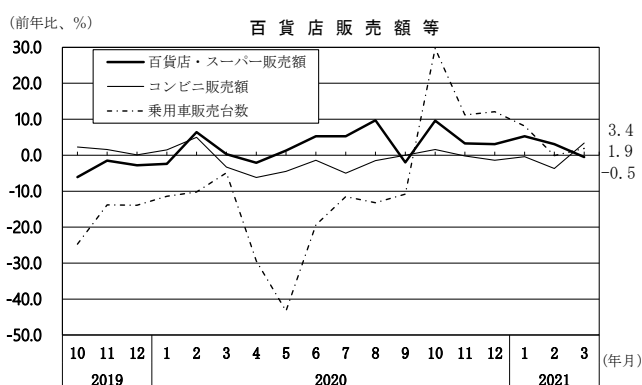
(2021年3月を中心として)



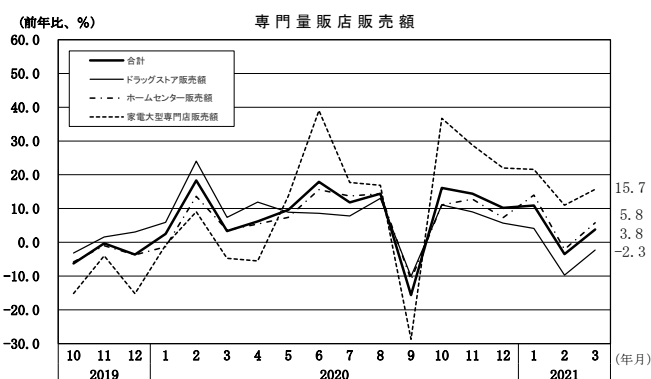
今月の概要

県内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にある。

1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

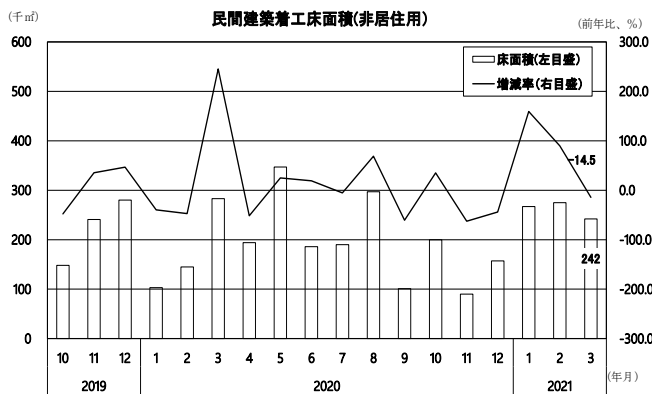
3月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,097億円で前年比0.5%減となった。百貨店は同4.1%増で2か月連続の増加、スーパーは同1.2%減で14か月ぶりの減少となった。一方、コンビニ販売は532億円で同3.4%増と、5か月ぶりの増加となった。

乗用車販売は、前年比1.9%増と2か月ぶりの増加となった。内訳をみると、小型車（同7.8%減）は5か月連続の減少となったものの、普通車（同5.0%増）、軽乗用車（同8.0%増）は6か月連続の増加となった。

3月の専門量販店販売額は、753億円で前年比3.8%増となった。内訳をみると、ドラッグストアが375億円で同2.3%減（2か月連続の減少）となったものの、家電大型専門店が198億円で同15.7%増（6か月連続の増加）、ホームセンターが181億円で同5.8%増（2か月ぶりの増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、2月〈33.4〉、3月〈35.7〉、4月〈35.3〉で推移している。

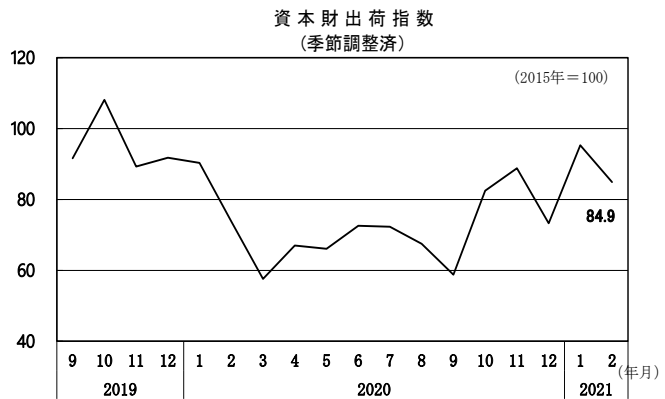
2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



(資料)国土交通省

3月の民間建築着工床面積(非居住用)は、242千㎡で前年比14.5%減となった(5か月後方移動平均でも前年比2.0%減)。

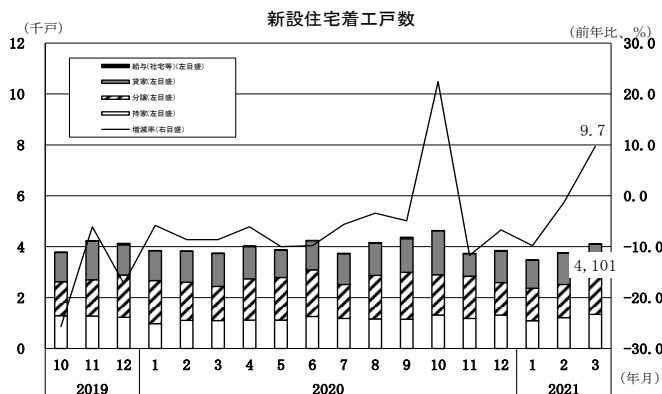
用途別にみると、店舗は増加したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所はいずれも減少した。



(資料)埼玉県

2月の資本財出荷指数(季節調整済)は、84.9で前月比10.9%減と2か月ぶりの減少となった。(5か月後方移動平均では、前年比5.2%増)

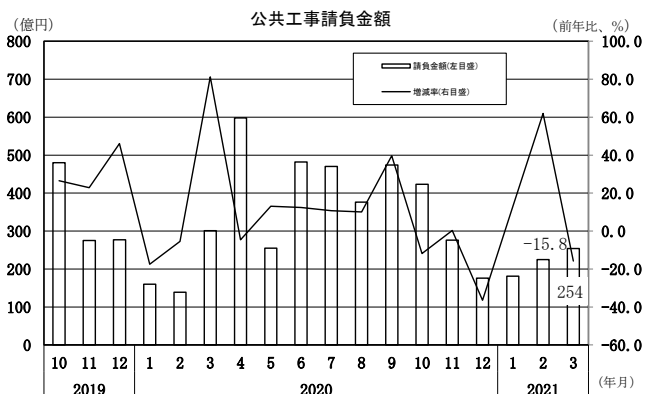
3 住宅建設 下げ止まっている



(資料)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、4,101戸で前年比9.7%増と5か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、4.2%減)。利用関係別にみると、貸家(1,257戸)が同2.7%減となった。一方、持家(1,341戸)が同21.9%増、分譲マンション(334戸)が同6.0%増、分譲一戸建(1,156戸)が同12.7%増となった。

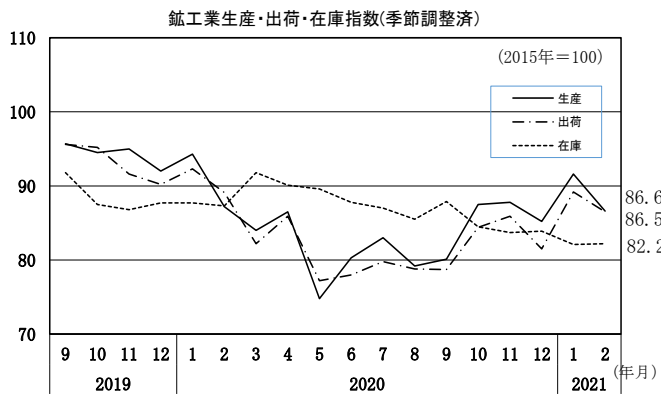
4 公共工事 足元減少



(資料)東日本建設業保証株式会社

3月の公共工事請負額は、254億円で前年比15.8%減となった(5か月後方移動平均でも前年比3.5%減)。発注者別でみると、国、独立行政法人等は増加したものの、都道府県、市区町村はいずれも減少した。

5 生産活動 持ち直している

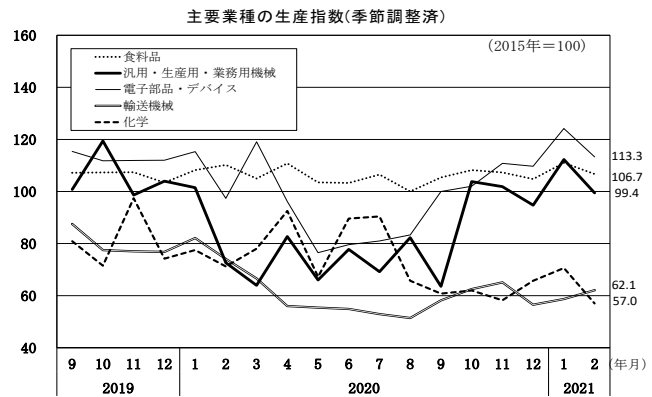


(資料)埼玉県

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、86.6で前月比5.5%低下(2か月ぶりの低下)。輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、化学(医薬品、合成樹脂塗料)などが低下した。

出荷指数(同)は、86.5で同3.0%低下(2か月ぶりの低下)。繊維(織物製繊維製品(外衣)、不織布)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、電気機械(電力変換装置、サーボモータ)などが低下した。

在庫指数(同)は、82.2で同0.1%上昇した(2か月ぶりの上昇)。電子部品・デバイス(混成集積回路、トランジスタ)、電気機械(クッキングヒーター、電気掃除機)などが低下したが、生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、繊維(織物製繊維製品(外衣)、不織布)などが上昇した。



(資料)埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、106.7で前月比3.9%低下し、2か月ぶりの低下となった。

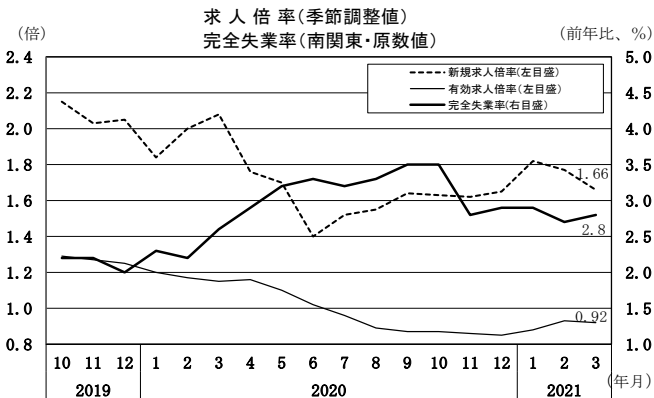
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、99.4で同11.4%低下し、2か月ぶりの低下となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は113.3で同8.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。

◆ 輸送機械(同)は、62.1で同5.8%上昇し、2か月連続の上昇となった。

◆ 化学(同)は、57.0で同19.3%低下し、3か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 弱い動き

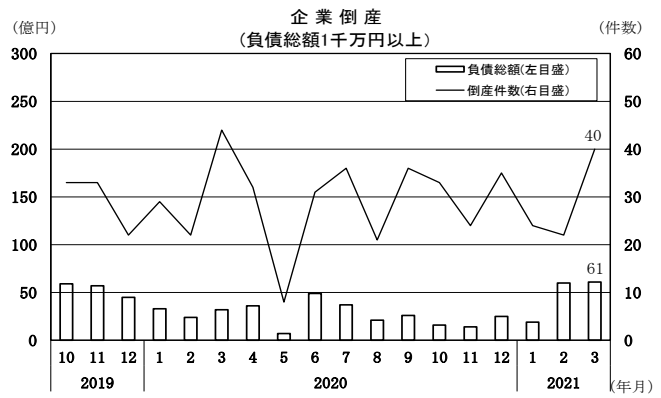


(資料)厚生労働省、総務省

3月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.92倍で前月比0.01ポイント低下(3か月ぶりの低下)となり、依然として9か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.66倍で同比0.11ポイント低下(2か月連続の低下)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.2ポイント上昇した。(前年同月比14か月連続の上昇)

7 企業倒産 一進一退



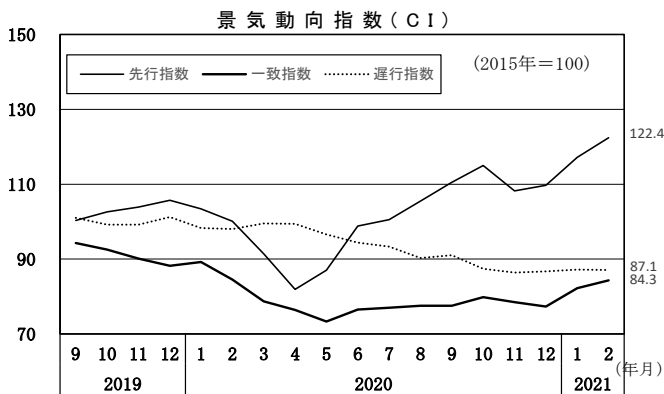
(資料)帝国データバンク

3月の企業倒産件数は、40件で前年同月比4件の減少となった。負債総額は61億円で同29億円の増加となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比3.3%減、金額は6.3%減)。

業種別にみると、小売業とサービスが9件で最も多く、建設業と製造業がそれぞれ6件で続いている。主因別では、販売不振が33件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 上方への局面変化を示している



(資料)埼玉県

2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、84.3で前月比2.1ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、122.4で同5.2ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.1で同0.1ポイント低下し、3か月ぶりの低下となった。